

環境配慮型ファサード

遮蔽性能の高いガラス・外壁の採用や、空気により熱を窓部から排出するエアフローウィンドウを採用し、建物の外皮から室内に入る熱を削減します。

関東自動車東富士総合センターでは、南面ファサードでは斜め庇と引き違い窓により日射負荷削減と自然通風を両立し、北面ファサードはガラス方立フルハイトサッシとバルコニーにより自然換気システムとして機能します。

富士通ソリューションスクエアでは、日射の影響が大きい外壁はダブルスキンを採用し、エアフローを利用することで外部からの熱負荷の影響を最小限に留めています。



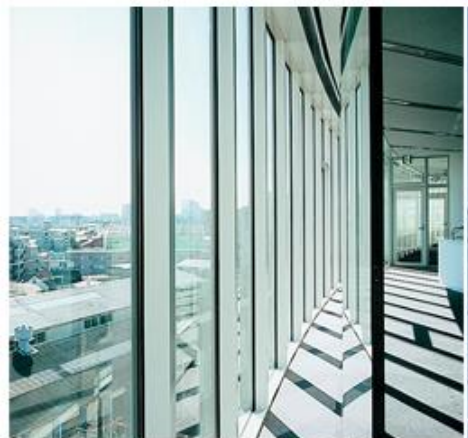
関東自動車東富士総合センター 南面ファサード外観



関東自動車東富士総合センター 南面ファサード内観



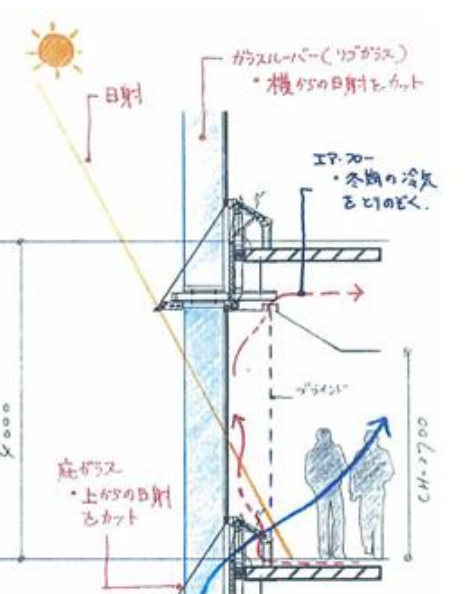
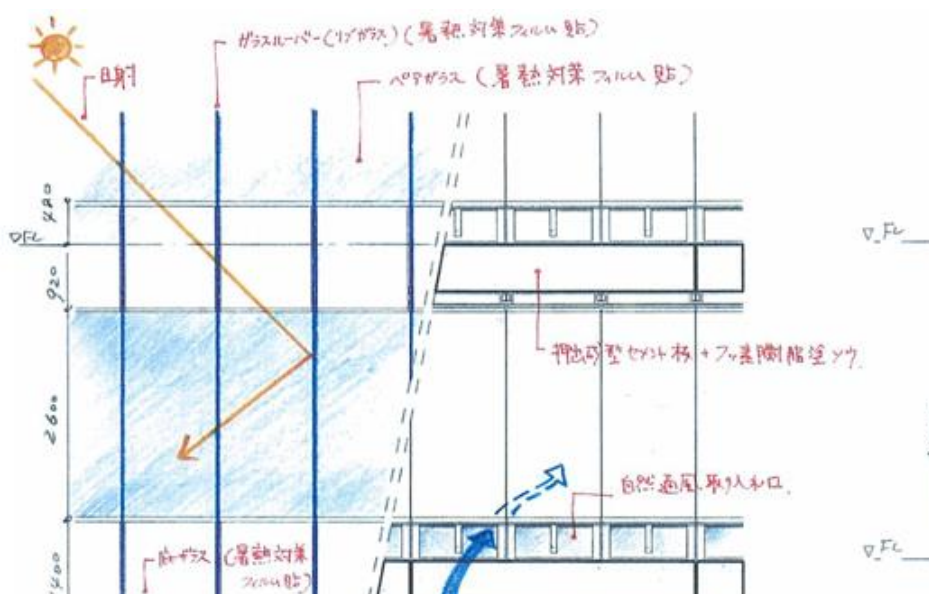
関東自動車東富士総合センター 北面ファサード外観



富士通ソリューションスクエア ダブルスキン



富士通ソリューションスクエア ファサード



Hand-drawn architectural cross-section diagrams illustrating the environmental performance of the facades. The left diagram shows the south facade with a slanted overhang and staggered windows for solar shading and natural ventilation. The right diagram shows the north facade with a glass curtain wall and balcony for natural ventilation and solar shading.